佐藤晴真

横坂 源

宮田 大

必聴!!チェロ3大協奏曲

熱狂コンチェルト

［指揮］飯森範親　［管弦楽］日本センチュリー交響楽団

ハイドン：
チェロ協奏曲 第1番 ハ長調 Hob.VIIb:1 佐藤晴真

エルガー：
チェロ協奏曲 ホ短調 op.85 横坂 源

ドヴォルザーク：
チェロ協奏曲 ロ短調 op.104 宮田 大

2022 **12.17**(土) 14:00開演 (13:00 開場)　ザ・シンフォニーホール

S7,800円　A6,800円　B5,800円 (全席指定/税込)　主催：ザ・シンフォニーホール

〈ご予約・お問合せ〉ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333(火曜定休) https://www.symphonyhall.jp

プレイガイド

■e+(イープラス) https://eplus.jp/symphonyhall(パソコン・携帯)　■ローソンチケット https://l-tike.com/symphonyhall [Lコード:53492]

■チケットぴあ https://w.pia.jp/t/symphonyhall/ [Pコード:211-683]

※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。※やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

The Symphony Hall 40th anniversary Since 1982

2022.2.13「熱狂コンチェルト2022 哀愁のラフマニノフ 3大名曲選 !!」より

必聴!!チェロ3大協奏曲

熱狂コンチェルト

「熱狂コンチェルト」は、ザ・シンフォニーホールの人気企画。名実ともにトップクラスの旬のアーティストが集い、協奏曲の名曲を奏でるこのシリーズには、多くの音楽ファンから熱い視線が注がれている。12月に開催される「チェロ3大協奏曲」では、ハイドン、エルガー、ドヴォルザークのチェロ協奏曲の傑作に、2019年、最難関ミュンヘン国際コンクール音楽コンクールで優勝した新進気鋭の佐藤晴真、同コンクールで第2位、今や主要オーケストラからのオファーが絶えない横坂源、そしてロストロポーヴィチ国際チェロコンクールの覇者で、正統派を極める宮田大が挑む。

日本のトップクラスのチェリスト3人が同じ舞台に登場する稀有な機会。このコンサートに立ちあうことができるのは、とても幸せなことであるに違いない。

文・道下京子

©山岸 伸

[指揮] 飯森範親 *Norichika Iimori, Conductor*

桐朋学園大学指揮科卒業。国内外のオーケストラを数多く指揮、東京交響楽団特別客演指揮者、いずみシンフォニエッタ大阪常任指揮者、ドイツ・ヴュルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団の音楽総監督(GMD)として活躍。2014年シーズンから日本センチュリー交響楽団首席指揮者に就任。07年より山形交響楽団音楽監督、2019年シーズンから同楽団芸術総監督に就任。2020年1月より東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者、同年4月より中部フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者。2022年4月よりパシフィック フィルハーモニア東京 (旧:東京ニューシティ管弦楽団) 音楽監督に就任。

オフィシャル・ホームページ https://iimori-norichika.com/

©ヒダキトモコ

[チェロ] 佐藤晴真 *Haruma Sato, Cello*

2019年、ミュンヘン国際音楽コンクールチェロ部門において日本人として初めて優勝して、一躍国際的に注目を集めた。18年にはルトスワフスキ国際チェロ・コンクール第1位および特別賞など受賞多数。バイエルン放送響はじめ国内外の主要オーケストラと共演しており、リサイタル、室内楽でも好評を博している。昨年秋には、名門ドイツ・グラモフォンよりセカンド・アルバム『SOUVENIR ～ドビュッシー &フランク作品集』をリリース。第18回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第30回出光音楽賞、第32回日本製鉄音楽賞受賞。21年度文化庁長官表彰。現在、ベルリン芸術大学在学中。使用楽器は宗次コレクション貸与のE. ロッカ1903年。

©Takashi Okamoto

[チェロ] 横坂 源 *Gen Yokosaka, Cello*

シュツットガルト国立音楽大学、並びにフライブルク国立音楽大学で学ぶ。全日本ピバホール・チェロコンクール第1位 (史上最年少)、全ドイツ学生音楽コンクール室内楽部門第1位、ミュンヘン国際音楽コンクール第2位。これまでに出光音楽賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞、ホテルオークラ音楽賞を受賞。

近年ではS.スヴィリドフ:チェロ協奏曲『つばき』の新作委嘱・世界初演をWürth Philharmonikerと、日本初演を東京交響楽団と行い、日本フィルハーモニー交響楽団とM.ルグラン:チェロ協奏曲の日本初演を果たした。2021年5月には、東京都交響楽団とP.デュサパン:チェロ協奏曲《アウトスケイプ》の日本初演を果たした。

©日本コロムビア

[チェロ] 宮田 大 *Dai Miyata, Cello*

2009年、ロストロポーヴィチ国際チェロコンクールにおいて、日本人として初めて優勝。これまでに参加した全てのコンクールで優勝を果たしている。

2021年にはトーマス・ダウスゴー指揮、BBCスコッティッシュ交響楽団との共演による「エルガー:チェロ協奏曲」の欧米盤が、欧州のクラシック界における権威のある賞の一つ「OPUS KLASSIK賞2021」を受賞するなど、海外からの評価も高まっている。

スイスのジュネーヴ音楽院卒業、ドイツのクロンベルク・アカデミー修了。使用楽器は、上野製薬株式会社より貸与された1698年製A.ストラディヴァリウス "Cholmondeley" である。

公式HP:https://daimiyata.com/

©Masaharu Eguchi

[管弦楽] 日本センチュリー交響楽団 *Japan Century Symphony Orchestra*

日本センチュリー交響楽団は1989年に活動を開始し、2019年に楽団創立30周年を迎えた。現在は50名のメンバーが在籍。飯森範親が首席指揮者、秋山和慶がミュージックアドバイザーを務め、2021年4月より久石譲が首席客演指揮者に就任。ザ・シンフォニーホールで開催するシンフォニー定期演奏会、ハイドンの交響曲全曲演奏・録音プロジェクト「ハイドンマラソン」に加えて、豊中市立文化芸術センターでの名曲シリーズを展開する。オーケストラ体感コンサート「タッチ・ジ・オーケストラ」をはじめ教育プログラムや地域連携事業にも力を入れている。

オフィシャル・ホームページ https://www.century-orchestra.jp/